

# エスペックの企業価値創造プロセス

私たちは、「社会の公器」として私たちが解決すべき社会課題を認識し、企業理念の実践とビジョンの実現に向けた事業活動を推進しています。これらを通じて「経済的価値」と「社会的価値」の創出と向上を図ることで、持続的成長を目指しています。

## 社会課題



## 投下資本(2022年度)

2023年3月末時点

■ 財務資本	株主資本(連結)	44,408百万円
	現金及び現同等物期末残高(連結)	14,298百万円
■ 製造資本	生産拠点数(連結)	7拠点
	設備投資額(連結)	1,311百万円
■ 知的資本	研究開発費(連結)	1,041百万円
	特許保有件数(単体)	393件
■ 人的資本	従業員数(連結)	1,691名
	教育投資額(単体)	101百万円
■ 社会関係資本	海外販売ネットワーク(国・地域)	50カ所44社
	国内代理店数	46社
■ 自然資本	使用電力量(連結)	24,913千kWh
	うち再生可能エネルギー*	18,124千kWh
	水使用量(連結)	90千m <sup>3</sup>

\* 自社太陽光発電・電力証書・再エネ電力メニュー分を含む

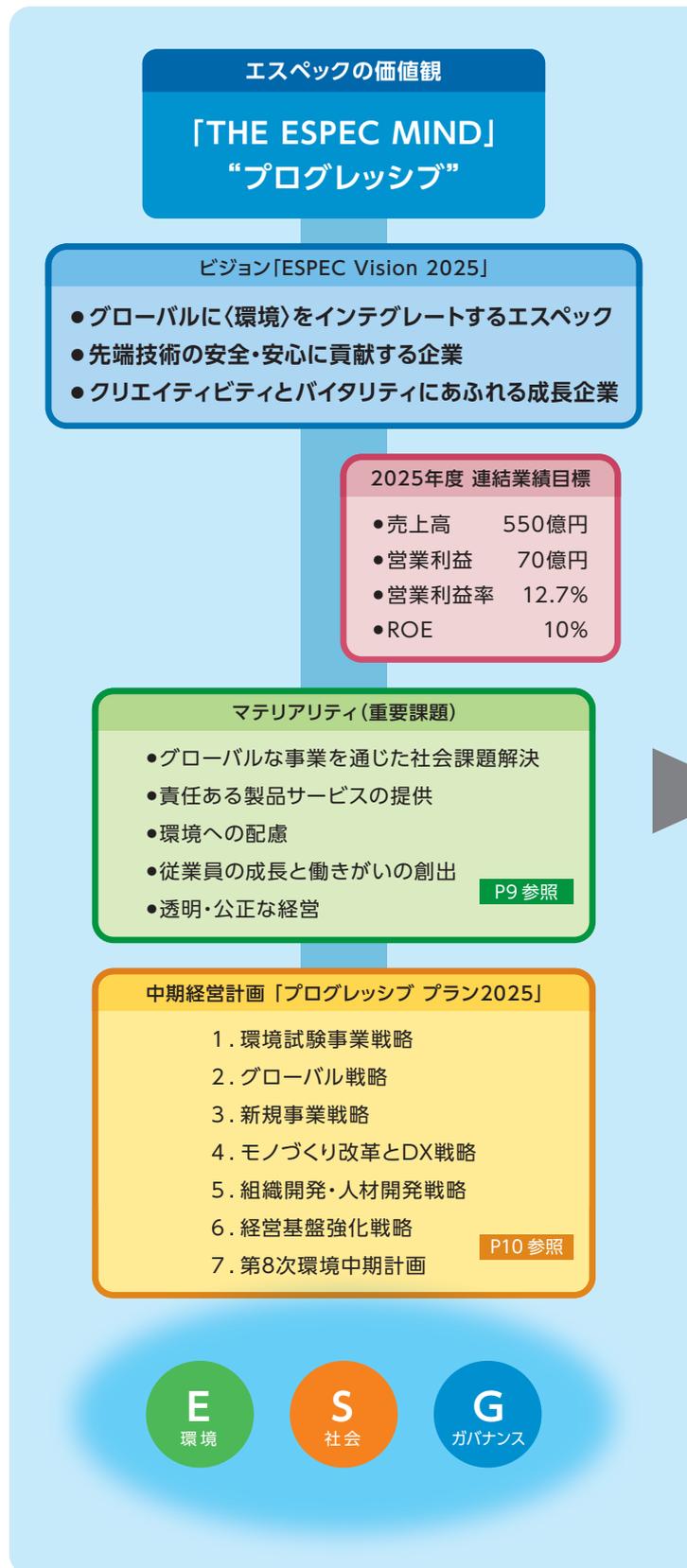
## リスク

- 大規模な自然災害
- 重大な感染症の流行
- 地政学リスク
- 世界的な電子部品等の不足による調達遅延
- 原材料価格の高騰

## 機会

- 社会のデジタル化・脱炭素化による製品サービスの需要拡大 (IoT: 高速データ通信 EV: 電動化、自動化)
- 安全・安心な社会の実現に向けた技術革新
- 環境関連規制への早期対応
- 多様な人材によるイノベーションの創出

## エスペックの企業価値創造



使命・存在意義

環境創造技術でより確かな生環境を提供  
ステークホルダーとの価値交換性の向上

提供価値

先端技術の  
安全・安心に貢献

ステークホルダーの  
信頼に応える

従業員の  
多彩な「成長支援」と  
「活躍機会の提供」

地球環境への貢献

事業活動

装置事業

- 環境試験器
- エネルギーデバイス装置
- 半導体関連装置

サービス事業

- アフターサービス、エンジニアリング
- 受託試験、レンタル

その他事業

- 環境保全
- 植物育成装置

2022年度 主な実績

2023年3月末時点

■売上高(連結)	52,892百万円
セグメント別売上高(連結)	
●装置事業	45,031百万円
●サービス事業	6,788百万円
●その他事業	1,404百万円

■営業利益(連結)	4,366百万円
営業利益率(連結)	8.3%

■親会社株主に帰属する当期純利益(連結)	3,330百万円
----------------------	----------

■純資産(連結)	47,172百万円
自己資本比率(連結)	69.9%

■ROE(連結)	7.2%
----------	------

■1株当たり配当金	年間69円*
配当性向(連結)	45.9%

\* 創業75周年記念配当 中間2円、期末2円を含む

■温室効果ガス排出量(連結)	1,098,905t-CO <sub>2</sub> e
●直接排出(SCOPE 1・SCOPE 2*)	7,293t-CO <sub>2</sub> e
●間接排出(SCOPE 3)	1,091,612t-CO <sub>2</sub> e

\*マーケットベースを採用

2023年4月1日現在

■女性管理職比率(単体)	7.0%
--------------	------